

令和9年度4月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【一 般 選 抜】

言語文化学専攻
ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース

〔専門科目〕

試験日：令和8年8月28日（金）

注 意

1. 問題は、Ⅰ（「英語学・言語学」）、Ⅱ（「イギリス言語文化学・アメリカ言語文化学」）、Ⅲ（「ドイツ言語文化学」）、Ⅳ（「フランス言語文化学」）の4つの領域からなる。いずれか1つの領域のみを選択して解答すること。
2. 解答に際しては別添の解答用紙（9枚同封）を用い、解答用紙の問題番号欄に問題番号を明記して、問題ごとに別々の解答用紙を用いること。なお、使用する解答用紙のすべてに受験番号、氏名を記入すること。
3. 総ページ数 — 17ページ

英語学・言語学分野

（問題Ⅰ-i～Ⅰ-iv）— 3～7ページ

イギリス言語文化学・アメリカ言語文化学分野

（問題Ⅱ-i～Ⅱ-iv）— 8～13ページ

ドイツ言語文化学分野

（問題Ⅲ-i～Ⅲ-ii）— 14～15ページ

フランス言語文化学分野

（問題Ⅳ-i～Ⅳ-ii）— 16～17ページ

4. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

英語学・言語学分野

I-i

次の項目から4つ選び、具体例を挙げて英語で簡潔に説明しなさい。

- (1) language arbitrariness
- (2) manner of articulation
- (3) compounding and blending
- (4) gerund
- (5) definite vs indefinite descriptions
- (6) subject-auxiliary inversion
- (7) prototype
- (8) echoic use
- (9) metaphor
- (10) preferred vs dispreferred

I-ii

次の文章を読み、下線部の (a) と (b) を日本語に直しなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(Yule, George. 2020. *The Study of Language 7th Edition.*)

I-iii

次の(1)-(5)の例文からどのようなことが言えるか、気付いたことを日本語で述べなさい。
(「*」は容認されないこと(あるいは不自然であること)を示す。)

- (1) a. I don't have any money.
b. *I have any money.
- (2) a. Hardly anybody noticed.
b. *Anybody noticed.
- (3) a. If you need any help, let me know.
b. *You need any help.
- (4) a. Nobody has said anything.
b. *Everybody has said anything.

I-iv

次の英文を読んで、後の設問に答えなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(Huang, Yan. 2014. *Pragmatics*)

設問

1. 下線部(a)について、そのように判断される理由を日本語で簡潔に説明しなさい。
2. 下線部(b)を日本語に訳しなさい。
3. 下線部(c)を日本語に訳しなさい。
4. 下線部(d)について、自分で考えた英語の例を示し、日本語で具体的に説明しなさい。
5. 下線部(e)について、本文中の例を用いて具体的に日本語で説明しなさい。

イギリス言語文化学・アメリカ言語文化学分野

II-i 各郡の a, b の中から一つを選んで簡潔に説明しなさい。(英語で解答してもかまいません。)

- 1) a. Edmund Spenser
b. Andrew Marvell
- 2) a. *Moll Flanders*
b. *The Life and Opinions of Tristram Shandy*
- 3) a. Adam Bede
b. Stephen Dedalus
- 4) a. Rudyard Kipling
b. George Orwell
- 5) a. New Criticism
b. New Historicism

II-ii 各群の a, b の中から一つを選んで簡潔に説明しなさい。
(英語で解答してもかまいません。)

- 1) a. *The Innocents Abroad*
b. *The Floating Opera*

- 2) a. Silas Lapham
b. Nick Adams

- 3) a. Richard Powers
b. Gertrude Stein

- 4) a. Transcendentalism
b. Cyberpunk

- 5) a. Ezra Pound
b. Robert Lowell

II-iii 次の文を読んで、設問に答えなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

Conrad Thomas, *A History of Japan* (2000)

設問

1. 下線部 (1) を和訳しなさい。
2. 下線部 (2) について、具体的な内容を日本語で述べなさい。
3. 下線部 (3) を和訳しなさい。

II-iv 次の英文を読み、設問に答えなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

出典 *Freak Shows and the Modern American Imagination* by Thomas Fahy, Palgrave Macmillan, 2006.

設問

1. 下線部(1)を日本語に訳し、その意味を本文に即して説明しなさい。
2. 下線部(2)を日本語に訳しなさい。
3. 下線部(3)の3人の人物について、知る限りのことを書きなさい。
4. 下線部(4)について筆者がそう思うのはなぜか、本文に即して具体的に説明しなさい。

ドイツ言語文化学分野

III-i

次のドイツの民話を日本語に訳しなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(Heinz Rölleke: Das große deutsche Sagenbuch)

*Witzwort : 北ドイツの地名 *grad : gerade *Hauberg : 北ドイツ特有の百姓屋敷の名称。
Haubarg とも。

III-i

次の文章を日本語に訳しなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(Sibylle Berg: Ein paar Leute suchen das Glück und lachen sich tot)

*seh : sehe *kenn : kenne

III-iii

次の文章をドイツ語に訳しなさい。逐語訳でなくとも、大意が伝わる表現でかまいません。

問1 このキノコは見た目はいいですが、あいにく食べられません。

問2 これほど感動的な演奏会は滅多に体験できないだろう。彼女のピアノに聴衆はみな心を奪われていた。

フランス言語文化学分野

IV- i 次の文章を読み、設問に答えなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

coalescence * 合体

(Gérard Gengembre, *Germinal d'Emile Zola*, Collection Foliothèque, Gallimard, Paris, 2004, p.12-13.
より。出題にあたり一部改変)

設問

- (1) 下線部1), 2)を和訳しなさい。
- (2) *Germinal*, *Les Misérables*, *Zola*, *Rougon-Macquart* のうちふたつを選択し、それぞれ 200 字程度の日本語で説明しなさい。

IV- ii 次の文章は、フランスの歴史家 Michel Pastoureau が、「色」の歴史について語ったインタビューの一部である。文章を読んで設問に答えなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

périphrase * 婉曲表現

horticulteur ** 園芸家

ricaner *** あざ笑う

(<https://www.archives-nationales.culture.gouv.fr/actualites/interview-de-michel-pastoureau-le-rose-une-couleur-sans-nom> より)

設問

- (1) 下線部①②を日本語に訳しなさい。
- (2) 本文にはある色をめぐって三つの時代が言及されている。それらを古い順に並べ、各時代においてこの色がどのように扱われていたかを、それぞれ日本語で、一文で説明しなさい。

IV- iii 次の日本語の文をフランス語に訳しなさい。

すでに十分な情報の蓄積がある場合、それらをうまく統合することで、ひとつの論を組み立てることは可能だろう。ただ、その質が保証されるためには何が必要なのかという問いは、常に何度も繰り返し発せられることになるだろう。